



作成日 2025年6月1日

1. 製品および会社情報

【製品名(化学名、商品名)】無機系抗菌材 アムテクリーンZ MK-12

【製造者情報】

会社名:株式会社 アムテック

住所:大阪府大阪市中央区平野町1丁目8-7 小池ビル

連絡:TEL 06-6866-8508 FAX 06-6864-1446

担当部門:管理グループ

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支援性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食物質	分類できない

人健康有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類対象外
急性毒性(吸入:粉塵)	区分外
急性毒性(吸入:ミスト)	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
呼吸器官差性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異厳性	分類できない
発がん性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性	区分1(吸入・全身)
特定標的臓器・全身毒性	区分1(吸入・肺)

環境有害性

吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生環境急性有害性	区分1
水生環境慢性有害性	区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険



作成日 2025年6月1日

〔安全対策〕粉じん／ヒュームを吸入しないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。必要に応じ個人用保護具を使用すること。

〔救急処置〕暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

〔保管〕施錠して保管すること。

〔廃棄〕地方の条例に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

【単一製品・混合物の区分】混合物

名称	化学式	CAS#	配合量
ホウ珪酸ガラス	$\text{SiO}_2/\text{B}_2\text{O}_3/\text{Na}_2\text{O}$	65997-17-3	39.6%
酸化亜鉛	ZnO	1314-13-2	60%
酸化銀	Ag_2O	20667-12-3	0.4%

4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに流水で十分洗浄する。痛みが取れない、過度に涙が出る、赤目が続く、等の場合は、専門医の診療を受ける。
皮膚に付着した場合：流水や石鹼水で十分に洗い流す。
痛みや炎症等を起こした場合は、専門医の診療を受ける。
吸入した場合：咳き込む、息切れする、喉や呼吸器管に刺激を感じる等の症状がある場合は、直ちに新鮮な空気のある所へ移動する。
さらにその症状が治まらない時は、専門医の診療を受ける。

5. 火災時の処理

消火剤：周辺火災時には、水、粉末ドライケミカル、二酸化炭素、泡等全ての消火剤の使用が可能である。
特有の危険有害性：火災により、刺激性、腐食性または毒性のフェームを発生する恐れがある。
消火方法：危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護：状況に応じて、保護具(呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等)を着用する。風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：状況に応じて保護具(呼吸用保護具、眼鏡、マスク等)を着用し、当該物の吸入や直接接触を避ける。粉じんが発生した場合、局所排気を行う。
環境に対する注意事項：当該物を環境中(水域、土壌)に放出してはならない。
回収方法：粒子を破壊しないように注意しながら、掃除機等で容器内に回収する。



作成日 2025年6月1日

7. 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い : 直射日光、高温、高湿、水漏れを避ける。取扱い時は、飲食または喫煙をしない。
容器の破損に注意し、乱暴に取り扱わない。
長時間光に晒されると、灰色から黒色に変色する恐れがある。
アルミニウム、マグネシウム粉末、塩素化ゴムとの接触を避ける。
必要に応じて保護具を着用する。
- 保管 : 直射日光、高温、高湿、水漏れを避けて、屋内倉庫に保管する。
容器の上に重いものを乗せたり、容器を積み重ねすぎたりしないようにする。
アルミニウム、マグネシウム粉末、塩素化ゴムと同一の場所で保管しない。

8. 暴露防止および保護措置

- 許容濃度 :
ホウ珪酸ガラス : 該当なし
酸化亜鉛 日本産業衛生学会 : 第二種粉塵
吸入性粉塵 $1\text{mg}/\text{m}^3$
総粉塵 $4\text{mg}/\text{m}^3$
ACGIH(2005年) TLV-STEL $10\text{mg}/\text{m}^3$ (粉塵)
- 設備対策 : 粉塵の発生する恐れのある作業場には局所排気設備を設ける。
保護具 : 状況に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用する。

9. 物理・化学的性質

- 外観 : 白色微粉末
臭い : 無臭
融点 : 600°C (軟化)
溶解度 : (水) 約3% 25°C 、1時間浸漬
比重 : 約 4

10. 安定性および反応性

- 安定性 : 常温の空気中および水中で安定
特定条件下で生じる危険な反応 : アルミニウム、マグネシウム粉末、塩素化ゴムと反応する。
避けるべき条件 : アルミニウム、マグネシウム粉末、塩素化ゴムとの接触。

11. 有害性情報

- 急性毒性(経口) : $\text{LD}_{50} > 2000$ (mg/Kg)、マウス経口
急性毒性(経皮) : データなしのため、分類できないとした。
急性毒性(吸入:蒸気) : 分類対象外
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : 酸化亜鉛は区分5(ラット $\text{LC}_{50} > 5.7\text{mg}/\text{L}$)に分類されている
(他はデータなし)ことから、混合物として区分5に分類した。
皮膚腐食性・刺激性 : 区分外
目に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分外



作成日 2025年6月1日

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境急性有害性 : 区分1

水生環境慢性有害性 : 区分1

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは
地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知
の上処理する。

汚染容器および包装: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体
の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 非危険物

航空規制情報 非危険物

国内規制

陸上規制情報 規制なし

海上規制情報 非危険物

航空規制情報 非危険物

特別の安全対策 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れ
のないように荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物
(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
(政令番号 第188号)

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法): 非該当

16. その他の情報

安全性について(日本食品分析センター)

マウスを用いた急性経口毒性試験: LD50 >2000(mg/Kg)、マウス経口

ウサギを用いた一次刺激性 : 異常は認められなかった

変異原生試験 : 異常は認められなかった

記載内容の取扱い:

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報・データに基づき作成しておりますが、
物理化学的性質・危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の手配を前提としたもので、特殊な取扱いの場合には用途
に適した安全策を施して下さい。